

環境・上下水

落ち葉のリサイクル事業を市内全域に拡大できないか

藤原哲重議員(フオ) ①平成19年度の事業実績は。

②専用袋の貸し出しや専用回収車の配置等を、冬季限定のシステムとして実施しては。

市長 ①参加件数16件、1千8百15*グラムを回収し、13軒の農家に1千7百46*グラムの落ち葉を提供した。

②新年度から繰り返し使えるリサイクル袋を作成し、貸し出し事業を進めたい。専用回収車については、臨時的に行うことも検討していく。

生ごみの別収集など、焼却量の削減による新炉の建てかえを

橋本久雄議員(緑ネ) ①小平・村山・大和衛生組合の焼却施設更新に向け、市民を含めた検討委員会の設置が必要では。

②生ごみを別収集し、焼却しない方法を検討しては。

③市の生ごみ削減目標数値は、市長 ①広く市民の意見を聞くため、組合に設置するよう働きかけた。

小平・村山・大和衛生組合



②資源化の統一等を検討する組織を組合と組織市で立ち上げ、生ごみの分別等についても検討していきたい。

③数値は示していないが、ごみ処理基本計画の改訂版に掲げた施策を推進し削減に努めたい。

「もったいない」を広げよう 小平市循環型社会施策について

斎藤貴亮議員(フオ) ①ペットボトルの指定法人への引き渡し量は、また、独自ルートへの売却量と売却金額は。

②ペットボトルのキャップを集めるキャップの貯金箱という制度に取り組めないか。

③小・中学校での環境教育は、市長 ①引き渡し量は約25ト、売却量は約27トで売却金額は約1千60万円と推計している。

②制度は把握しており、今後効果等を研究していきたい。教育長 ③さまざまな教科で、環境の大切さや問題点について考える活動をしている。

温暖化対策とエネルギービジョン

苗村洋子議員(緑ネ) ①CO₂削減の目標値をどう考えるか。

②都の総量削減義務等の仕組みを使い、さらに市で上乗せするなどの工夫ができないか。

③エスコ事業に取り組んでは、市長 ①今後設置する策定検討委員会を検討し、長期目標もあわせて示す予定である。

②都は平成20年度に環境確保条例を改正する予定なので、その状況を見きわめて検討したい。

③公共施設だけでなく、事業者への導入も含めて研究したい。 ※エスコ事業とは

ビルや工場等における省エネルギー*改修を促進し、地球温暖化対策の一環として導入が期待される省エネルギーサービス事業のこと。

福祉

障がい者サポートのしくみの充実を

苗村洋子議員(緑ネ) ①障がい者地域自立生活支援センターの成果と課題は。

②障害者のケアマネジメントのあり方は。

③地域自立支援協議会が機能するための運営は。

市長 ①障害者の悩みなどの解決の一助となっている。課題は認知度が低いことである。

②住みなれた地域で暮らし続けたいけるように、多様な支援ができるようなケアマネジメントの確立を目指している。

③機能が発揮できるよう市民や関係機関の協力を得て、地域一体となって育てていきたい。

中国残留邦人への実効ある支援策を

橋本久雄議員(緑ネ) ①二世、三世を含めた調査が必要では。

の協力等を得て周知していく。 ③生活保護とは別の担当を窓口とし、相談支援等も可能な限り別の場所に対応する。支援相談員は、都からの派遣で対応する予定である。

シルバー会員の配分金が最低賃金を下回っている影響について

常松大介議員(フオ) ①都の最低賃金を下回っている職種とその会員数は。

②1時間当たりの会員の配分金と事務局職員の人員費は。

③シルバー人材センターの問題点と改善策は。

市長 ①有料自転車駐車場管理等の6職種、14人と聞いている。

②前者は平成19年度直近で822円、後者は18年度で4千4百円と聞いている。

③会員数が減少傾向なので自主事業の開発等に力を注ぎ、団塊世代の受け皿となるように努力する必要がある。

高齢者の介護・暮らしを守るために

木村まゆみ議員(共産) ①住民税などの申告時に、障害者控除を受けた要介護高齢者の数は。

②在宅重度要介護者のために重度訪問介護が活用できないか。

市民にとって使いやすい 手続に改善を

木村まゆみ議員(共産) ①健康福祉部の申請主義に基づく事務で、改善が必要なのは。

②おむつ代助成制度の手続の現状と改善点は。

③通所介護等利用者助成事業の改善点は。

市長 ①現時点ではない。

②認定等の申請手続は公正な事務のため必要と考えているが、高齢者の家族に配慮し郵送等で対応している。

③平成19年度に開始した制度なので、利用者の意見を踏まえて検討していきたい。

福祉タクシー券やガンリン補助の有効かつ適正な利用について

佐野都夫議員(政和) ①福祉タクシー券と心身障害者ガソリン費補助事業に対する評価は。

②福祉タクシー券の利用方法を見直した経緯は。

ンケートを実施している。発達障害等の手帳がない人への実態把握も必要と認識している。

児童・女性

市立保育園への兄弟姉妹の受け入れを改善せよ

浅倉成樹議員(公明) ①兄弟姉妹を別の保育園に通わせているケースは何件あるか。また、区域による特徴は。

②兄弟姉妹が同じ保育園に通えないケースとその解決策は。

市長 ①平成19年度は62世帯であり、区域による特徴はない。

②各年齢枠ごとに保育に当たれない状況の高い人から選考するため、募集枠より応募者が多い場合や、特定の園に応募が集まっている場合は別々になる。

早い時期にできるだけ複数園を希望してもらい、同じ園への優先度合いを考慮している。

真の待機児童解消のために 保育政策の見直しを

木村まゆみ議員(共産) ①認可保育園を希望しながら入れなかった子どもの人数は。

②花小金井幼稚園における認可保育園の実態は。

③障がい者福祉計画の基本理念等の実現のため、東京都障害福祉計画との整合性を図り、数値目標を設定して計画的に推進していく。

市立保育園等の耐震化について

常松大介議員(フオ) ①耐震化が施されている保育園は。

②耐震化されていない保育園の平均築年数と、安全性の確保策は。

③民間保育施設の耐震化の状況とその対策は。

市長 ①大沼保育園1園である。

②およそ36年である。耐震診断を実施し、耐震化が必要か否かを見きわめる必要がある。

③私立保育園7園、幼稚園10園が耐震化されていない。私立保育園協会等を通じて、国の補助制度等を紹介したい。

小平市の助産所 助産院の現状について

石毛航太郎議員(フオ) ①少子化対策をどう考えるか。

②市内で助産師の資格を持つ

人の数は。 ③助産所における出産数は。

市長 ①次世代育成支援行動計画の中で、国が策定した仕事と生活の調和憲章と行動指針等に基づき、市レベルでの取り組みを充実していく。

②平成18年12月末現在36人である。

③人口動態統計によると平成13年54人、14年41人、15年58人、16年55人、17年50人である。

公園用水

小川町一丁目土地区画整理事業 地内の公園緑地等整備について

佐野都夫議員(政和) ①児童館等と併設の第1号公園は、建物と並行して計画すべきでは。

②第3号公園にプレパークをつくるという市長のマニフェストがあるが、市民意見を聞いて変更するのか。

③懇談会に公園緑地計画の専門家を加えては。

市長 ①公園や建物の敷地面積や形状が決まっているため、影響はないと考える。

②土地区画整理組合の理解も得ており、変更は考えていない。

③市民の視点で意見等を聞くもので、専門家への要請は考えていないが、組合と調整したい。 ※プレパークとは 遊びの手助けをするプレリーナー*等が主体となり、自然の地形等を利用し自然の中から遊びを探し出す場所のこと。